

「芸術・文化振興検討部会」設置について

- 「芸術・文化振興検討部会」を設置し、市民のニーズに応じた芸術・文化振興事業のあり方を「提言書」として提出していただきたいと考えています。

(経緯)

令和6年度に生涯学習課で「芸術文化に関する意識・ニーズ調査」を行いました。

当初の目的は市議会で趣旨採択となった市民ホールの建設や、展示スペースの創設を望む声を受けて、芸術・文化振興の今後の方向性を検討するための市民意識調査でしたが、調査の結果、「芸術・文化に触れる機会がない」と感じている市民が多くいることが分かりました。

また、令和6年度に市長公室企画課が実施した「守谷市まちづくり市民アンケート」においても、アンケート回答者の約5割が「芸術・文化に触れる機会がなかった」と回答しています。

それらの結果から、守谷市の芸術・文化振興事業が一部の市民だけでなく、多くの市民にとって身近なものとなり、魅力的で参加しやすいものとなること、芸術・文化の活動人口が増え、より盛んになることが、市の施策として優先すべきことなのではないかと感じています。

市民のニーズに応じた芸術・文化振興事業のあり方を、社会教育委員のみなさまと検討していきたいと考えています。

(参考) 令和6年守谷市まちづくり市民アンケートより

問 19 あなたは、この1年間に芸術・文化に触れる機会がありましたか (〇はいくつでも)

No	項目	人	%
1	演劇やコンサートなどの芸術鑑賞に足を運んだ	424	32.6%
2	演劇やコンサートなどの芸術活動に参加した	63	4.8%
3	茶道、華道や伝統芸能などの伝統文化に親しんだ	37	2.8%
4	絵画、写真や工芸などの展覧会に足を運んだ	261	20.1%
5	絵画、写真や工芸などを楽しむ活動や講座に参加した	45	3.5%
6	その他	25	1.9%
7	機会がなかった	654	50.3%
	無回答	14	1.1%
	回答者数	1,299	
	合計	1,523	

意識調査結果

調査概要

1. 調査目的

平成29年度、令和5年度に渡り、市民から陳情・請願が出され、市議会で趣旨採択となった市民ホール建設に対し、ホール機能を核とした文化施設を整備するための構想を策定する前段階として、市民の芸術文化に関する関心や行動実態を把握するため意識調査を行った。

2. 実施概要

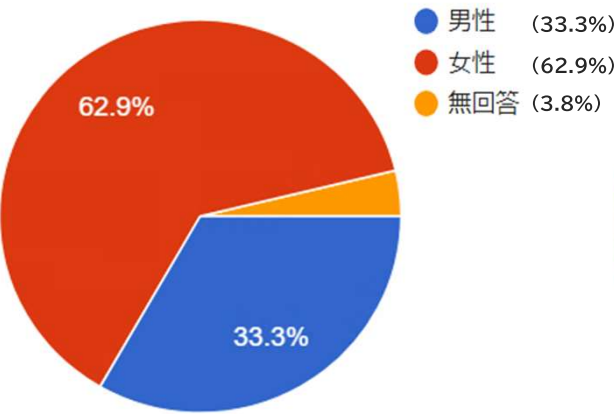
- (1) 調査対象・方法：①令和6年9月1日現在の住民基本台帳より無作為抽出した18歳以上の市民2,000人を対象に、GoogleフォームによるWEBアンケートQRコードを送付
②公式サイトにWEBアンケートURLを掲載
③公民館・施設利用者を対象にWEBアンケートと同内容のアンケート用紙を設置

(2) 調査期間：令和6年10月4日(金)から令和6年11月30日(土)まで

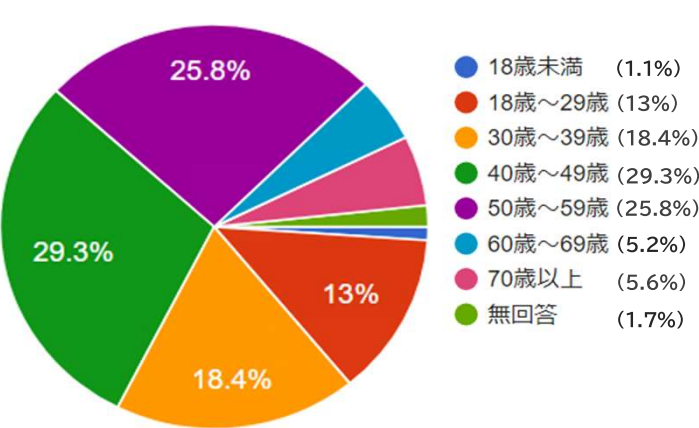
(3) 回答数：WEBアンケート 931件／利用者アンケート 42件

3. 回答者属性

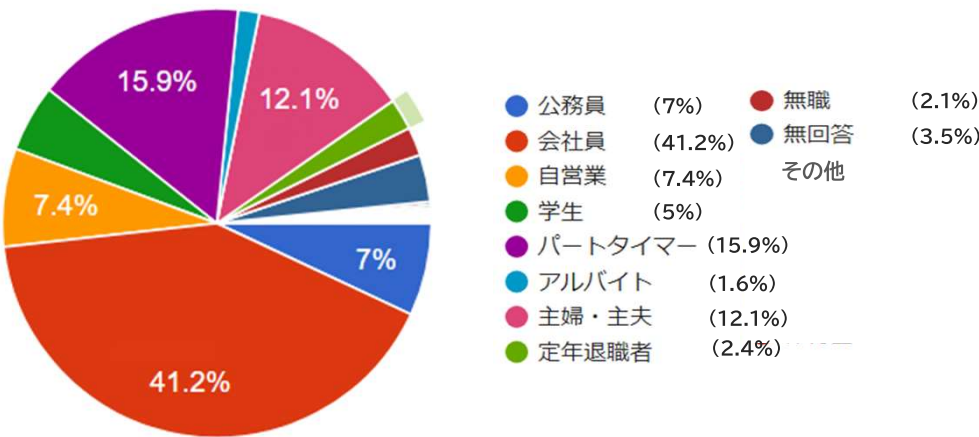
(1) 性別



(2) 年齢



(3) 職業



調査概要

1. 調査目的

平成29年度、令和5年度に渡り、市民から陳情・請願が出され、市議会で趣旨採択となった市民ホール建設や、展示スペースの創設を望む声を受けて、芸術・文化振興の今後の方向性を検討するため市民意識調査を行った。

2. 実施概要

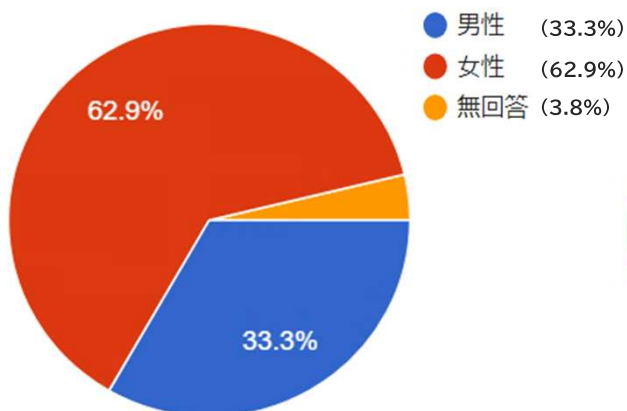
- (1) 調査対象・方法 : ①令和6年9月1日現在の住民基本台帳より無作為抽出した18歳以上の市民2,000人を対象に、GoogleフォームによるWEBアンケートQRコードを送付
②公式サイトにWEBアンケートURLを掲載
③公民館・施設利用者を対象にWEBアンケートと同内容のアンケート用紙を設置

(2) 調査期間 : 令和6年10月4日(金)から令和6年11月30日(土)まで

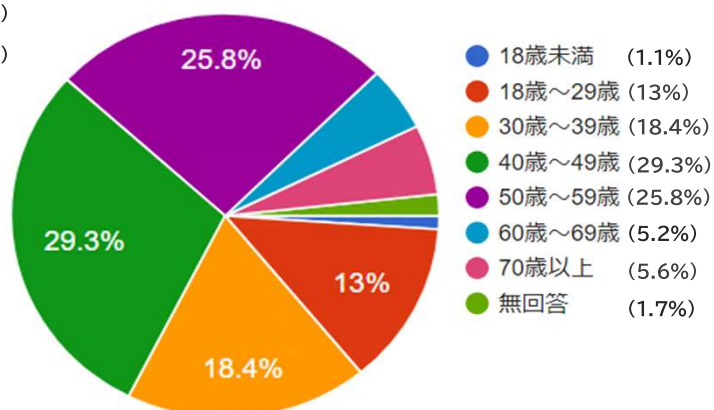
(3) 回答数 : WEBアンケート 931件／利用者アンケート 42件

3. 回答者属性

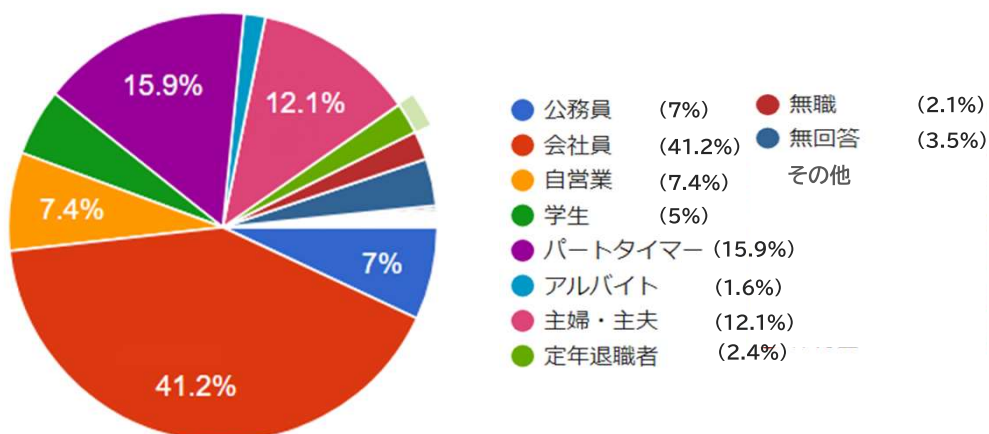
(1) 性別



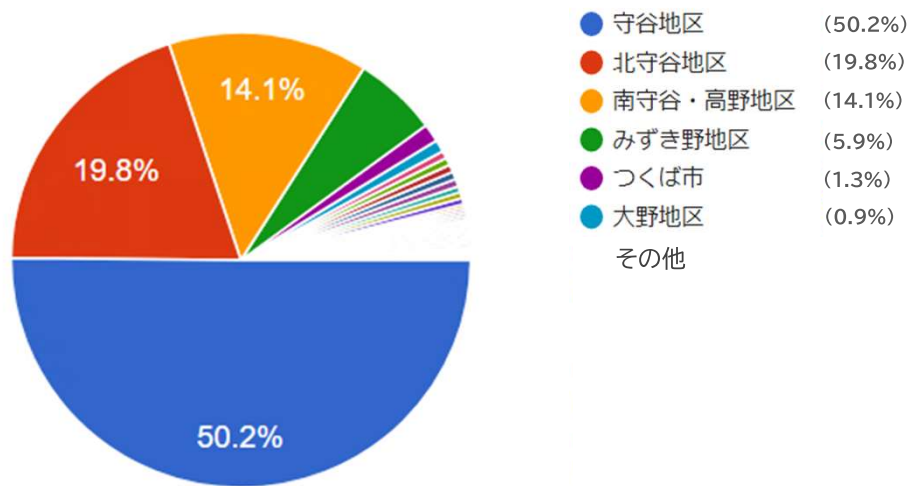
(2) 年齢



(3) 職業

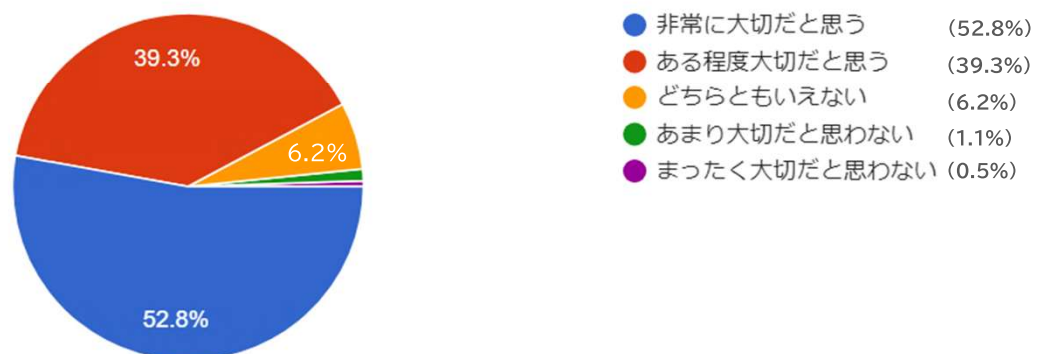


(4)居住地



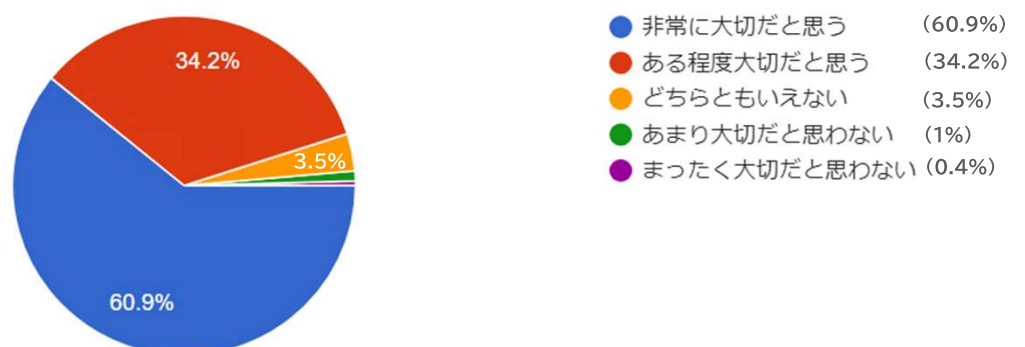
調査結果

Q1. あなたは、市民が芸術文化を鑑賞することや、自ら芸術文化活動を行うことについてどう思いますか。



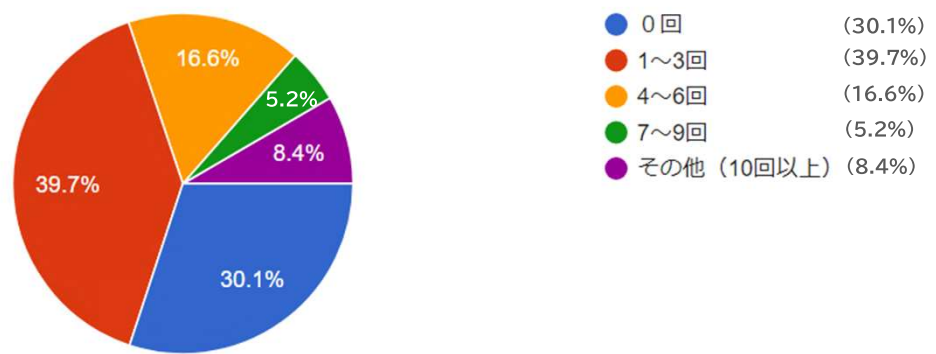
●「大切だと思う」との回答が大半だった。

Q2. 芸術文化活動を発表(展示)したり鑑賞する場所があることについてどう思いますか。



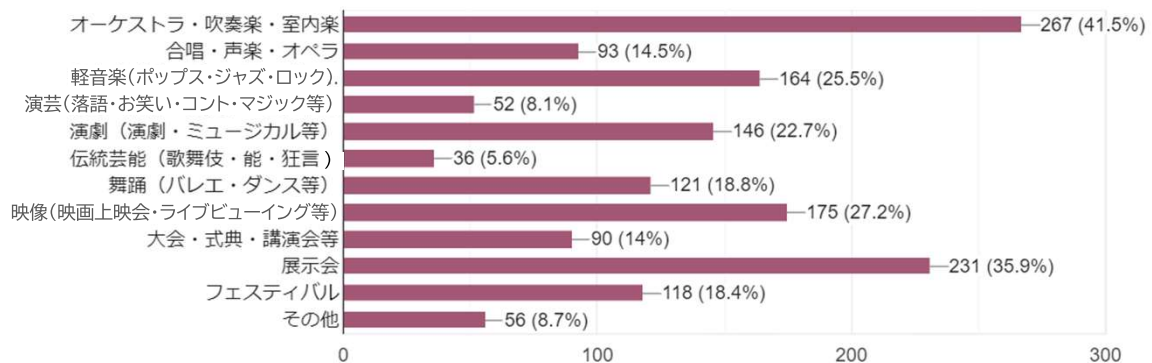
●「大切だと思う」との回答が大半だった。

Q3. 1年に何回芸術文化活動を発表(展示)したり鑑賞する機会がありましたか？



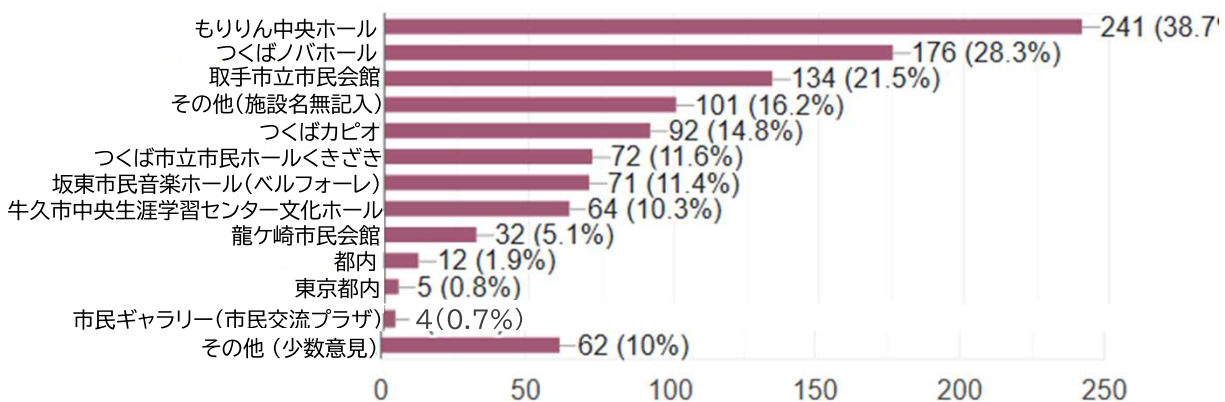
● 7割のかたが何らかの芸術文化活動を発表(展示)したり鑑賞する機会があったと回答しているが、機会が全くないかたが3割程度いる。

Q4. (0回と答えた人以外)主な発表(展示)、鑑賞ジャンルは何ですか？【3つまで選択可】



● 幅広いジャンルに関心があることがうかがえるが、音楽系イベントと展示会が特に鑑賞されている。

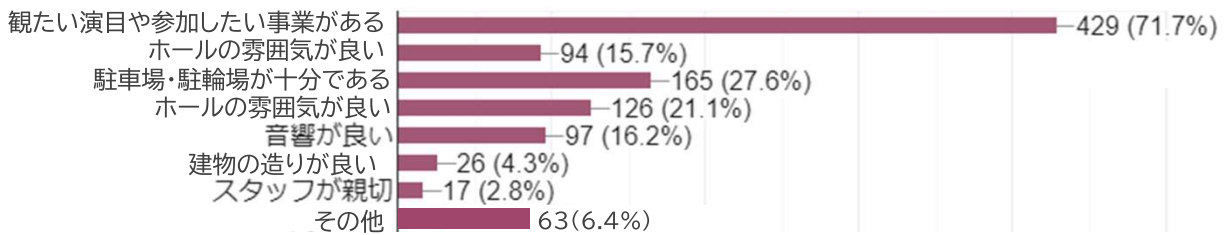
Q5. (0回と答えた人以外)発表(展示)、鑑賞等でよく訪れる守谷市内および周辺の施設はどこですか。【3つまで選択可】



● 守谷市内の音楽イベントはもりりん中央ホールの利用が圧倒的。近隣市町村で利用されているホールはもりりん中央ホールよりも規模が大きく、イベントの規模が大きいものは郊外(もしくは都内)で鑑賞されていることがわかる。

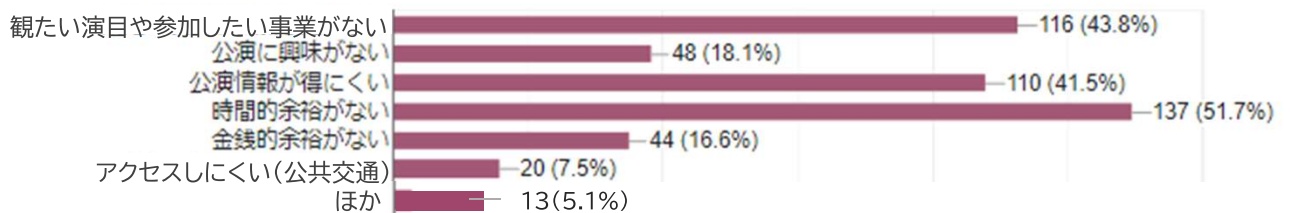
その他(少数意見)として、東京ドーム、三郷市文化会館、取手市ウェルネス、つくば国際会議場、つくば市民ギャラリー、柏市民文化会館、サントリーホール、ひたちなかホール、さいたまスーパーアリーナ、Bunkamura、スターツおおたかの森ホール、東京国際フォーラム等があがった。

Q6. (0回と答えた人以外)前問で選択した施設をよく訪れる理由は何ですか。



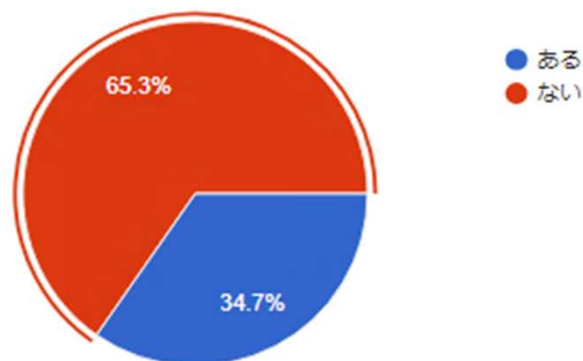
● 見たい演目や参加したい事業があるからという回答が最も多いが、設備やスタッフ等、施設そのものが良いからという回答も多い。少数意見では近いから、何かのついでにという意見が複数あった。また、実際には良い演目は守谷ではあまり見られないので都内や千葉県に行くことが多い。守谷市内で観るのは伝統芸能や子供達の発表という意見もあった。

Q7. (0回と答えた人のみ)芸術文化活動を発表(展示)したり鑑賞しなかった理由は何ですか。
【3つまで選択可】



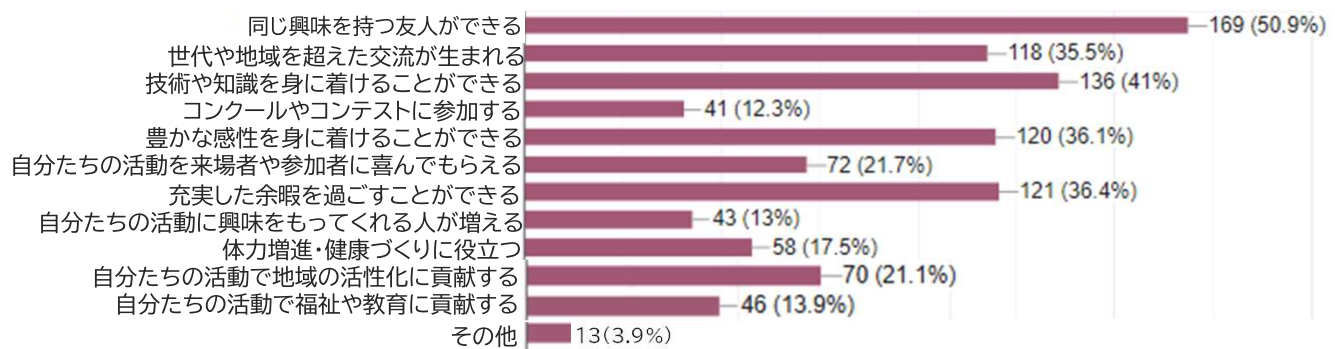
● 時間的余裕がないが最も多く、続いて観たい演目や参加したい事業がない、公演情報が得にくいが続く。そもそも興味がないかたも一定数いる。

Q8. 芸術文化、生涯学習、市民活動等、ご自身が日常的に行っている活動はありますか。



● ご自身が活動しているかたは3割にとどまっている。

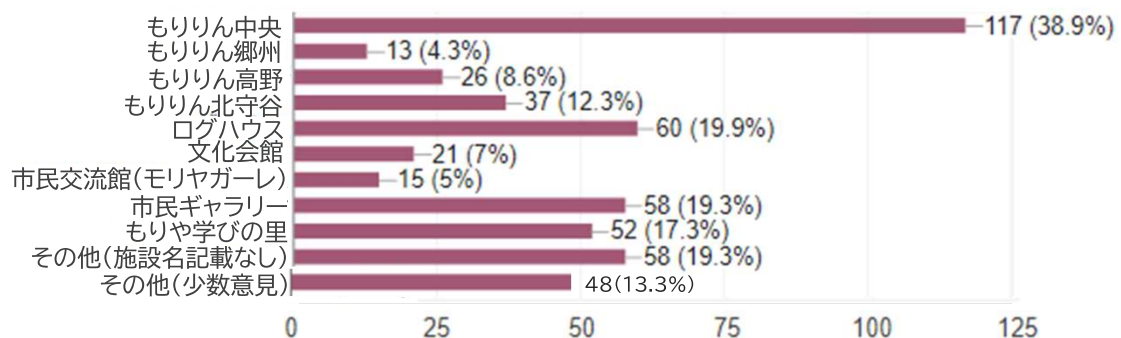
Q9. (「行っている活動がある」と答えた人のみ)活動を行う主な目的は何ですか。【3つまで選択可】



● 同じ興味を持つ友人ができる、世代や地域を超えた交流が生まれる、という意見が多い。

また、技術や知識を身に着けたい、コンクールやコンテストに参加したいといった「生涯学習」の場やそれを披露する場を求める意見や豊かな感性を身に着けたい、充実した余暇を過ごしたいという心の豊かさを求める意見、地域や教育現場に貢献したいという理由があった。

Q10. (行っている活動があると答えた人のみ)よく利用する(していた)施設はどこですか。【3つまで選択可】

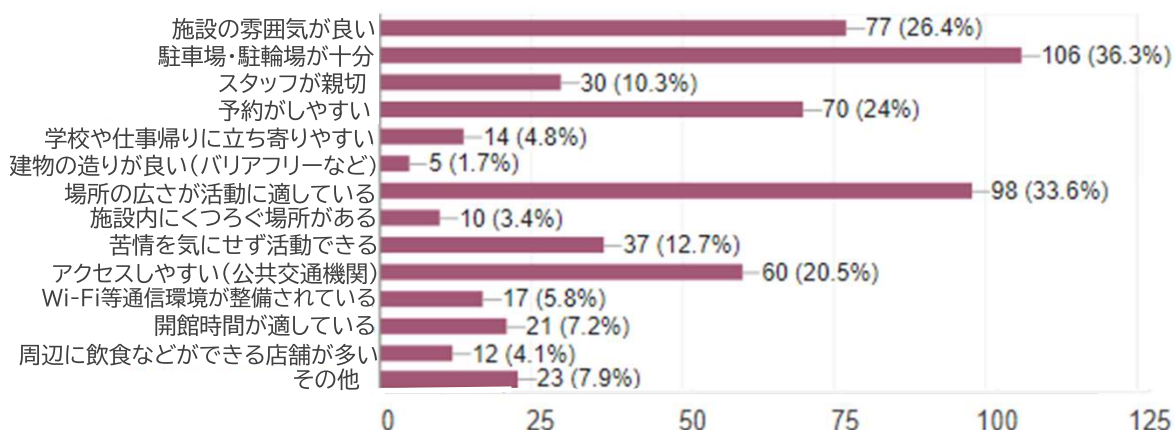


● 守谷市内ではもりりん中央の利用が圧倒的。続いてログハウス、市民ギャラリー、学びの里と続く。

少数意見として、いこいの郷、つくばカピオ、つくばノバホール、常総運動公園、荃崎ホール、幕張メッセ、都内、公園、小学校といったものがあった。

近隣市町村で利用されている施設は規模が大きいホールが多い。

Q1 1. (「行っている活動がある」と答えた人のみ)前問で選択した施設をよく利用する理由は何ですか。【3つまで選択可】



● 駐車場・駐輪場が十分 という意見が最も多く、続いて場所の広さが続く。雰囲気が良い という意見も多い。ハード面では施設自体の広さと駐車場の広さが重要視されていることがわかる。また、予約がしやすい という意見やアクセスしやすい、周辺に飲食店がある といった利便性を重要視する意見も多かった。

少数意見として、美術展示をする施設が守谷市にないので仕方なく使用している、市内に良いホールがないから、といった「仕方なく市外を利用している」意見が散見された。

Q1 2. (「行っている活動はない」と答えた人のみ)活動を行わない理由は何ですか。



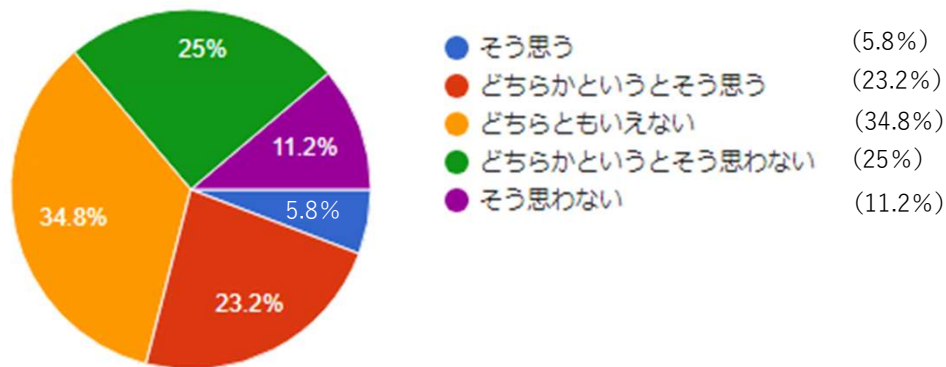
【少数意見】

- 子育て中で、子どもファーストなため
- 自分の学習が発表するものではないから
- 芸術よりスポーツに力を注いでいるため
- どんな活動があるのか、どこでどのように活動しているのか、どうやって連絡を取るのかわからない
- 子育て中で、活動の余裕がない
- 鑑賞の方が好きだから

● 少数意見の「子育て中」を含み半数近くが時間的余裕がなく活動を行っていない。また、きっかけがない、どうやって活動に参加するかわからない という意見からは日常的に芸術文化活動の情報に触れる機会が少ないことがうかがえる。

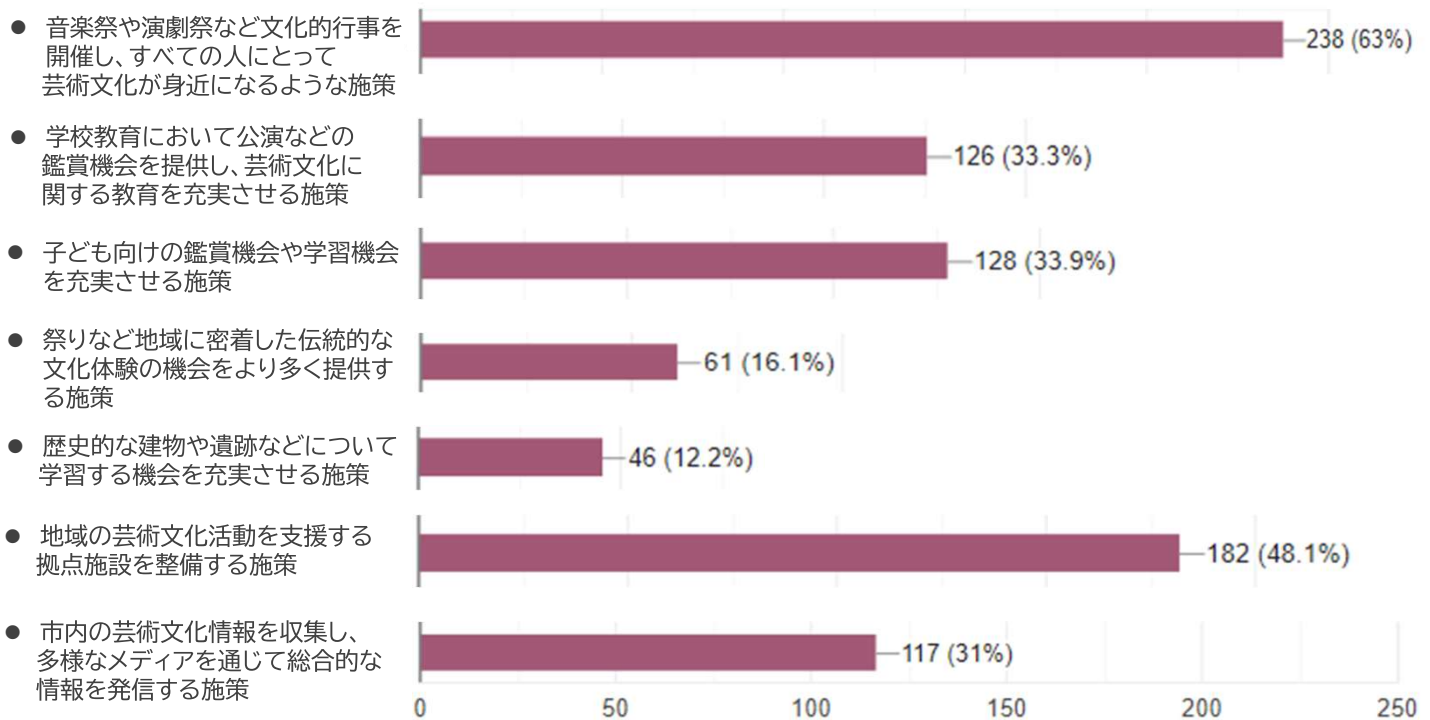
活動に興味がない、スポーツに力を注いでいる、鑑賞の方が好き といった芸術文化活動を自ら行う意思がないかたも一定数いる。

Q13. 守谷市は文化や芸術に触れたり参加したりする機会に恵まれていると感じますか。



●どちらかというと思う、どちらかというと思わない がほぼ同数。そう思わないは、そう思う よりも多い。どちらともいえない が最も多い。

Q14. (「どちらかというと思わない」「そう思わない」と答えた人のみ)どのような施策が必要だと思いますか。



●音楽祭や演劇祭など、芸術文化を身近で鑑賞できるような施策、また、その拠点施設を整備する施策が必要と考えているかたが多い。また、学校教育において芸術文化を鑑賞する機会を設けるなど、子ども向けの施策が必要と考えるかたが多い。

Q15. 守谷市の芸術文化振興に関する施策に対して、評価したいこと(ほかの自治体に比べて優れていると思うことや継続してもらいたいこと)や、不満、意見などがあればご記入ください。

【自由意見】

※ 自由意見の引用は原文のまま掲載しており、誤記等につきましては敢えて修正を為さず、該当箇所の直後に括弧書きにて『原文のまま』と注記しております。

① 現状の施設への意見・評価 (18件)

・もりりん中央は音楽ホールとしての機能を果たしていない。音響、空調設備など改善すべき点があるのに見て見ぬふりをしている。文化的側面を軽視しては、市の魅力や価値はどんどん下がっていくと思う。

・人材には恵まれていると思うが、残念ながら施設が弱小。特に一流アーティストを招べるような高性能で客席数の多いホールがない。ギャラリーも市民の才能を活かしきれない。このままの設備では目先の文化活動には最低限事足りても文化芸術に関する発展性は全く期待できず、民度の高さや交通の便の良さなど守谷市のポテンシャルを思うと残念でならない(原文のまま)。

・市民会館に類する施設が貧弱。

・音響の良い広い施設がないです。コンサートや、ライブ、ミュージカルが鑑賞できるくらいの施設が守谷市にあったら、芸術に力を入れてると言えると思います。

・図書館の蔵書が多いこと。

・大きいホールがないため、外部からの芸術鑑賞がないこと。

・いまの図書館のシステムはやっつけすぎてダメ。

・他の自治体に比べ文化施設が貧弱。

・私はダンスを趣味で行っていますが、守谷にはあまりそういう施設がみられません。発表会ができる施設や体育館？など、あると集まりやすいですし、発表会以外にもイベント等も開催できるかと思います。どうかそういう部分も含め考えていただけると幸いです。

・守谷市はホールが小さいので他市のホールを借りる必要がある。市内にあればそれがいい。

・守谷には、ログハウス以外に響きの良いホールがないので、どうしても市外に出ていくようになる。良いホールが無いので、観客の喜び演奏者には来ていただけない。これからの子供達にも、良い環境と芸術性の高い演奏を与えて欲しい(原文のまま)。

・音響の良い、拠点になる雰囲気の良いホールが無い。もりりんホールのピアノもフルコンでは無い。中途半端なホール、施設しか無いのは、文化活動にとって致命的です。

・大きなホールが市内無い(原文のまま)

・もりりん中央のホールは音響もすばらしく、生の演奏をたくさん聴きたいです(今でも十分あるのですが)。営利的なものでも、守谷駅から近いので守谷市外からも来やすいと思います。時々開催される映画上映も嬉しいイベントで続けてほしいです。

・音響のよい施設がない。

・十分なキャパシティのあるホールがないこと。

・大ホールがない。

・満足できるホールがない。

② 現状の施策に関する意見・評価（16件）

・アーカス構想の効果がわからない。

・そもそもどのように力を入れて取り組んでいるのか見えてこない。今回の調査も芸術文化が何を指すのか定義づけないまま設問がはじまり、設問の構成も断片的でわかりにくい。

・文化協会に権限を持たせ自主運営に努めているところが素晴らしいと思う。他市は行政任せな部分が多いと感じます。地域コミュニティも盛んで住民が自立して文化活動等に参加していると感じます。

・ブランチ守谷で自然の中で美味しいものを食べながら音楽を楽しめるイベントが度々開催されているのは、忙しい中でもふらっと立ち寄れてとてもありがたいです。ぜひ今後も継続していただき、ポスティングで開催のお知らせをしてほしいです。

・スポーツを通じた市民交流は今後も続けてもらいたいです。

・芸術文化振興にもっと力を入れて欲しい。頑張っている人たちが活動する場が少なすぎる。せっかくの守谷市の人的財産が他の地域に流れてしまっている。

・他の自治体に比べ、市が中心となって芸術文化振興をしているイメージが希薄です。守谷市として、対外的に「これが守谷市の文化振興活動です」と言える柱を立てて頂きたいです。

・高齢者でも参加しやすい場所、環境と、サポート。

・守谷駅でのイベントは、舞台上で発表する機会があったり新しいお店を知る機会があったり、とても活気があるように思いました。とても良いことだと思います。

・守谷市が他の自治体と比べてどうかは私は芸術に興味がないのでわかりませんが学校や施設などに絵が描かれていたのは素敵なアイデアだと思いました。

・知らないだけなのかもしれませんが、市民講座が少ないと感じました。

・wi-fiがこの時代、使えない施設は致命的。かつ、参加する人たちが市民7割、市外3割という縛りも今の時代に合っていない。(SNSで告知が主流、境目がなくなっているので使いやすい他の近隣自治体に流れる。)

・市民の活動を支えたり、市民が発表する場はある程度大事にされている気がします。質の高い演目を子供達が見る機会がほとんどないので市外に公演を見に通っています。守谷市はなんでも手前味噌です。

・評価したいこと:参加費が比較的無料であること。

意見したいこと:守谷市の芸術文化ホールと言えど？と聞かれて思いつく施設が特段ないこと(あるのかもしれないが認知されていないこと。)また、有償でも知名度のある団体の展覧会、作品展やコンサート等を定期実施しても良いと思う。

・守谷でも大きなイベントができたり、映画祭みたいなのを定着させたり、若者が首都圏からも来なくなるようなイベントとかできたらいいのに。今時、ネット中継もできるから、首都圏とつないで守谷と東京同時開催イベントとか、やりたいこといっぱいあるのに、守谷では出来ないね！

③ 望ましい施策に関する意見（11件）

- ・誰もがどの年代もが参加しやすいイベントや参加したいと思うグループ作り・参加しやすい方法が必要。
- ・守谷市は芸術文化振興に関する施策に投資するのではなく、子育て支援や高齢者支援に力を注ぐほうがよい。無理して民間事業者へ高い委託費やコンサルティング費用を負担してまで、無理にやらなくてよい。また、市の財政収支が良くなった場合は、住民税や固定資産税の減税など現役世代の負担軽減に努めるべきである。守谷市は税負担だけでなく、水道料金が非常に高く、以前住んでいたところの2倍以上でありありえない。
- ・守谷から他の街に行く！のではなく、守谷にどんどん人を呼び込める街になるのが理想的だと思います。
- ・若い人が展示をしたり、音楽と触れ合う機会を作ったりすることはその地域の文化指数を上げることに繋がると思う。
- ・もっと守谷出身のアーティスト(若手20代とか)を募って芸術祭を駅前でしたら良いと思う。芸術祭と言っても、フリマやステージ、DJや歌、ダンス、現代アートなどジャンルレスなもの。絶対面白いと思う。
- ・有名な方のコンサート等きてくれるとよいと思う。
- ・既存のグループに途中から参加はしにくいので、[新規参加者オンリースタート]などあるとイイかな、と思います。ひとりで参加しても疎外感のない活動ならどなたも敷居は引くなります(原文のまま)。
- ・地域の優れた才能をもつ方に学校で披露していただいたり、生徒に触れ合わせていただけると、子供の感性や可能性がひろがったり、親が時間的制約があっても平等に体験させてあげることができるとおもいます。
- ・施設以外でも街中で気軽に鑑賞できる場が欲しい。
- ・もりりんに吉本芸人とか読んでほしい。取手みたいに。
- ・市内で行う必要はなく、周辺や芸術についての情報発信主としてすれば良いのではないかな。

④ 施設の整備に関する意見（33件）

- ・イベントや音楽活動は、市のコストがかなりかかってしまうため、個展や展示場を作り、自由に作品を見て楽しめる場所があれば、ユーモア溢れる素敵な街になると思います。守谷市の芸術家のたまごを発掘するという意味でも、面白い活動だと思います。芸術家のたまごでなくても、絵を描くことが好きな人たちが自由に絵を展示できる施設をつくれれば面白いと思います。
- ・音響等の優れたホールの建設については、建設費用が膨大にかかるため不要だと思う。充実した芸術鑑賞などの環境を求める人や団体は、あくまでも自己負担で都内などに足を運べば良いと思う。音楽グループ等、趣味の発表会などは現ホール(もりりん中央)の規模で充分だと思う。
- ・大規模オーケストラによる演奏や生演奏付きオペラを鑑賞できる施設が、守谷にはありません。子供たちや大人が、身近にかつ気軽に舞台芸術に触れることのできる機会と場所の創設を、行政が率先して行うことを、一市民として期待しています。なお、新たな施設を建設するのであれば、今の中央公民館レベルと同程度のもの(舞台面積、収容人員)にしては意味がないと考えます。今の公民館の大きさでは、演目に支障が出ていたと推察します。(例えば、ベートーヴェン交響曲第九演奏会(合唱付き)などは、やりたくてもできなかったのではないのでしょうか)新規の「箱モノ建設」に批判はつきものですが、「どうせやるなら、思い切って」です。応援しています。
- ・芸術文化振興については、市外からも呼び込める拠点整備、その情報発信(文化遺産含め)が必要。
- ・新しい箱は要らないので、企画の中身など既存の施設を活かして行う知恵を絞ってほしい。
- ・芸術文化振興に関連する施設を守谷駅近郊などの一定のエリアに集めることで、芸術文化に関心を持つ人が近隣地域からも集まるようになり、地域が活性化することができのではないかな。自然と芸術が合わさった、東京にはない魅力を持つ特色エリアを目指してもらいたい。

・どんどん発展してきている守谷市に、文化の拠点となる市民会館などを作って、多方面の公演を行い、市民をはじめ違う地域の方々に「守谷に公演を観に行きたい！」と思わせてくれるような街になったらいいと思います。

・守谷市にも市民センターなどがあってもいいと思う。

・ホールを作ってください。

・1000人以上収容可能な芸術ホール等が守谷市にはないので是非作って欲しい。

・音響の優れた素晴らしい音楽ホールが欲しい。

・本格的な音楽ホールを建設してほしい。中央公民館は狭すぎる。

・もっと大きいキャパシティのホールがあると良いと思います。

・1000人は入れるホールが必要。

・プロのエンターテインメントが観られる(呼べる)ような施設を作って欲しいです。

・スポーツも芸術鑑賞もどちらもできる施設があると良いと思う。

・もりりん中央以外でコンサートとかが見られるホールがほしい。アジュール跡地とかでもコンサートとかやってほしいです。

・ベルフォーレのホールや、白井市のプラネタリウムのような、ウリのある施設を作って欲しい。

・収容人数の多いホールが欲しいです。

・質(音質・設備)の高いホール。

・駅周辺に歴史や芸術振興に主眼をおいた生涯学習センターのような施設を整備してほしい。

・収容人数の多いホールを増やして欲しいまたその活動、企画を行って欲しい。

・知り合いの方が守谷市で文化活動をされてたり、施設があれば良いと思いながら活動されていると聞き、わたくしの住む山形県南陽市には木で作られた素晴らしいホールが10年ほど前に出来て、とても充実した芸術活動を行っています。自分の活動だけではなく、沢山のアーティストさんがライブに訪れたり、市民もよく利用していて様々な芸術団体や学校が利用しています。是非守谷市にもその様な施設が出来たら良いなと思い、アンケートに参加させて頂きました。

・守谷市のホールは狭すぎる。成人式も行えないなんて残念過ぎる。

コンサートや講演会など外部から人を呼び込むくらいの規模のホールがあってもいいと思う。

・自分は主に活動する側だが、発表する施設(音楽ホール)が少なく、予約もなかなか取れないため、活動しにくい。実際に演奏会を開催すると大勢来客があり喜んでいただけているのを実感しているので、出来れば駅近くなどに施設が出来るといいと思う。また、いい施設が出来ると、著名な方の公演を観る機械も増え、いい教育になると思う。

・お芝居、コンサートなどで使用できるホールがあれば行事も増えるし市民にも芸術が身近なものになると思います。

・中央公民館のような大きなホールのある施設を、市民主催だけでなく、外部からの公演もどんどん受け入れることによって、守谷市民が楽しめるだけでなく、市外の方も楽しめるようにしてはどうか。そうすることで、もっと守谷市が活性化するのではないかと思います。

・私は守谷地域でダンススクールの運営、イベント企画を行っております。現在守谷地区だけで、約500名の会員がおりますが、十分な広さ(縦8m×横12m程度)のステージ、十分なキャパシティ(観客1000人程度収容)があるホールが無いので、発表会やイベントはすべてつくば市で開催しています。もし、守谷地区でこういったイベントが開催できる施設があれば、地域のダンス文化はもちろん、芸術文化は更に広がり、市民の豊かな人生を彩る重要な発信基地となると考えています。ぜひご検討いただけたらと思います。よろしくお願いいたします。

・美術関連：常設の展示ボードが無いので、展示会のたびに危険を冒して自分たちでパネルを設営せざるを得ない。美術関連の展示に特化したギャラリーが必要。学校の部活動の展示なども校内以外に一般に開かれた展示活動をすることでモチベーション、レベルが上がると思う。

音楽関連：100人程度の中規模の「音楽ホール」が必要。例えば音楽教室の発表会を行うのに適した広さ、コンサートクラスのピアノなどを備えた設備を探しても守谷には無い。中央公民館ホールの広さではなく、小規模の活動を活発化させることが文化振興に寄与する。

・守谷市にもイベントや公演が行えるホールができれば便利になるのではないかと思います。

・坂東市のベルフォーレのような、音響が良く収容人数が多い音楽ホール造り、コンサートピアノを設置してほしい。

・守谷に駐車場の広い、大きなホールがあったらもっとたくさんのイベントが開催されて、地域の活性に繋がると思います。

⑤ 情報発信に関する意見（9件）

・情報を得る機会がないので、もっと色々知りたいです。

・私は子育て移住者なので、まず認知が難しいです。アクセスするチャンネルやサポート、イベントを充実してもらいたいです！

・どこに情報が出ているか不明。

・動画や写真を広報に載せて、勧誘したら良いかと思う！どんな人がやっているのか不安で行かない！

・せっかく施設があるので、もっとコンサートなどを企画・PRし、集客したら良いと思う。若い世代が興味を広げられるものや学生を招待したりなど。

・普段の生活で芸術文化的イベントに関する情報に触れる機会がほとんどありません。市民が多く訪れる場所（駅や商業施設など）にポスターを掲示するという原始的なやり方が結局かなり効果的ではないかと思います。デジタルによる情報発信（HPに掲載するなど）もされていると思いますが、よほど興味のある人以外はその情報を能動的に取得しにいかないのではないかと思います。

・宣伝が少ない

・大体的に分かりやすく（たとえば駅など）に何処で何かの展示会、発表会などの告知をしてほしいです。その瞬間にしか生まれない感動を見逃してしまうのはとても悲しいことです。

・若い世代で、芸術や文化に疎いということもあるのかもしれないが、守谷での芸術文化活動のお話が私の耳に入っていないので、芸術文化に興味を持ってもらう前に、活動に関する知名度の普及がまず重要だと思う。

⑥ 守谷市文化協会に関する意見（2件）

・文化協会という組織があり、行政と連動して活動できている。

・文化協会での絵画の出展をしているので、その運営には感謝してます。11月3日の大ふれあい茶会は、素晴らしかったです。今後も継続存続を願います。

⑦ アンケートに関する意見（7件）

- ・設問に偏りがあるようです。アンケート作成者望む結果になるような設問設計になっています。やり直した方がいいのではないのでしょうか？
- ・芸術文化が何を指すのか定義づけもないまま設問がはじまり、設問の構成も断片的でわかりにくい。
- ・会場の選択肢の「もりりん中央」は、〈〉づきで守谷市立中央公民館と説明を加えたほうが良いと思います。
- ・前の設問の「地域の芸術文化～」のチェックができません。できればONにします。
- ・アンケートの選択肢が音楽や演劇などパフォーミングアーツに寄った内容になっており、美術やデザインに対する問題意識が無いと感じた。
- ・「鑑賞ジャンル設問」に美術が無い。⇒”守谷の芸術文化”に美術(日本画、洋画、書道、陶芸、華道、写真、)は含まれないのか？「よく訪れる施設設問」に”市民ギャラリー”が無い。⇒来場者2000人超を数える「もりや市美術展」や、1週間で700人の来場者の「フォトクラブ写遊写真展」は市民ギャラリーで開催されています。これらイベントの期間内来場者数は守谷のイベントとしては有数のものと思います。このイベントが今回アンケートの対象外なのか？
- ・アンケートがわかりにくいです。芸術文化全般についての質問かと思いきや、市内や近隣限定の設問しかないで首をかしげました。市内での活動について聞きたいということなら、最初に前置きするべきです。また、4問目くらいの選択肢に絵画・アートが含まれておらず、その他も記入できなかったため、一番活動しているものについて記入できませんでした。一般的に芸術活動に含まれる(むしろメイン)とおもいますが、あえて外す理由があるのでしょうか。初めにも記載しましたが、どのようなカテゴライズで何を聞きたいのかわかりにくいです。以上、よろしくお願いいたします。

⑧ その他

- ・特にありません。
- ・音楽会 講演会 映画会 など どれも興味深い内容で参加したいと思いますが 時間の都合がつかないため 時間に余裕ができれば是非参加したいと思います。関係者の皆様いつもご苦労様です。
- ・この先の未来、芸術もスポーツも充実し続ける守谷市になることを願っております。
- ・アジュール跡地は放置せず具体的活用が決まるまでは、これまでのように講演会や式典、パーティーなどの会場、撮影会場など開放して活用すべき。使わなければ傷むし、負の財産と問題になるのは悲しすぎる。
- ・心を豊かに感性を磨いていけています。また健康を維持、出来ている事に感謝しています。
- ・車道にメロディーラインを設置する事は出来ないのでしょうか？
- ・日頃出掛けることもあるが、他の場所は文化レベルが高いと思われる。それは何故かという、設備が整っており、素晴らしいホールがあるから。それだけで市のレベルがまわりから見て違う。今までに無いことをすることが、後世に残ること。相手にされなかった分野から注目されるとどうなるかを、早く実感したい。
- ・チケット代を払って良いものを観る認識を高めてほしい。
- ・身近なもの、写真をもっと追求したい。
- ・高齢な方が多い。歌や民謡はわからない。音楽熱心な方が取手より少い(原文のまま)。

分析と課題

- 日常的に芸術文化活動に参加したり鑑賞することや、そういった場所があることについて、9割以上のかたが大切さを認識しています。7割のかたが何らかの芸術文化の鑑賞の機会があったと回答した一方で、実際に活動していると回答したかたは3割にとどまっています。また、自ら活動をしないかたの半数近くが時間的余裕がなく活動をしていません。市民が身近な場所で芸術文化を発表、鑑賞できる機会を創出し、様々な生活スタイルに合った形で、芸術文化に気軽に関われる機会を充実させる必要があります。
- きっかけがない、どうやって活動に参加するかわからない という意見からは日常的に芸術文化活動の情報に触れる機会が少なく、芸術文化を身近なものとして実感できていない現状があります。「芸術文化のまとまった情報」を公平に市民に届けるために、世代に合った情報発信の方法を検討し改善していく必要があります。
- 芸術文化活動において、アンケート回答者内の活動者は60歳～69歳の女性の比率が高いです。70歳以上では男性の比率が高くなります。30歳～59歳では男女ともに活動者の比率が低いですが、活動者の中では女性の方が比率が高いです。
- アンケート回答者内の活動者は市内公民館を中心に活動しています。音楽系のイベントは「もりりん中央ホール」、「ログハウス」で主に発表、鑑賞されており、絵画等の展示会は「市民ギャラリー」で主に発表、鑑賞されています。規模の大きいイベントは市外で発表、鑑賞されています。
- 鑑賞・活動を行う施設に求めるものとして、駐車場を含む施設全体の規模(広さ)、施設の雰囲気や予約のしやすさ、アクセスのしやすさ、近隣飲食店の有無といった利便性が重要視されています。
- 大規模な施設の建設を求める意見がある一方で、近隣市町村にあるので新設は必要ないとの意見もあります。施設の建設のみならず、市民のニーズに応じた事業の在り方を検討する必要があります。
- 活動をする主な目的として、「同じ興味を持つ友人ができる」、「世代や地域を超えた交流が生まれる」という意見が多かったことから、人とのつながりが芸術文化活動をするきっかけになっていることがわかります。芸術文化活動における人と人との交流機会を創出し、活動人口の増加につなげる取り組みを推進する必要があります。
- 子どもたちに芸術文化の鑑賞機会や学習機会を設ける等の若い世代向けの施策を求める意見も多く、芸術文化の担い手を育成するために、若い世代や子供たちが芸術文化に触れる機会を創出し、活動を支援する取り組みを推進する必要があります。

守谷市の芸術文化振興事業の現状

6. 守谷市の芸術文化振興事業の現状

◆守谷市文化協会事業

部	事業名	開催時期	場所	内容
美術部会	もりや市美術展	5月～6月	市民ギャラリー	美術部会による作品展
	写真展と写真講演会	美術展内で開催	市民ギャラリー	一般対象
	初心者陶芸教室	6月～	もりりん中央陶芸舎	一般対象
	陶芸ろくろ講座	6月～	もりりん中央陶芸舎	会員対象
	書道体験教室	8月	もりりん中央美術室	小学生対象
	油絵教室	9月～2月	もりりん中央講座室	一般対象
	表装拓本講座	5月～1月	もりりん中央	一般対象
芸能部会	芸能の集い	5月	もりりん中央ホール	一般対象
	伝統文化保存会 子供教室	6月～3月	もりりん中央	幼児・小中学生対象
	芸能大会	6月	もりりん中央ホール	会員対象
	家族で楽しむ 邦楽演奏会	12月	もりりん中央ホール	一般対象
華道部会	華道部展・体験教室	5月	もりりん中央	一般対象
	華道部展・体験教室	11月	もりりん中央	一般対象
茶道部会	茶道講座	9月～1月	もりりん中央和室	一般対象
	茶道一日体験教室	7月、12月	もりりん中央和室	一般対象
	ふれあい茶会	11月	もりりん中央	一般対象
音楽部会	定期演奏会	6月	もりりん中央ホール	一般対象
	コンサートシリーズ	10月、12月	もりりん中央ホール	一般対象
	若い芽のコンサート	11月	もりりん中央ホール	一般対象
	少年少女合唱団 コンサート	3月	もりりん中央ホール	音楽部会(少年少女合唱団)
事業部会	映画会	5月、11月	もりりん中央ホール	一般対象
	講演会	8月、3月	もりりん中央ホール	一般対象

◆アーカスプロジェクト

事業名	時期	場所	内容
アーティスト・イン・レジデンス	9月～12月	アーカススタジオ	国際的に活動するアーティストが滞在制作を行う
オープンスタジオ	11月	アーカススタジオ	アーティスト・イン・レジデンスの成果発表
アーカス・リサーチ	随時1ヶ月程度	アーカススタジオ	世界中のアーティスト、キュレーター、研究者、博士課程の学生、作家など、文化・芸術分野の実践者や専門家を対象にした自己主導型のレジデンスプログラム
エクスチェンジ・レジデンシー・プログラム	2ヶ月程度	アーカススタジオ、海外	アーカスと海外の団体が選出したアーティストやキュレーター、リサーチャーを派遣し合う、製作・リサーチ活動支援プログラム

◆生涯学習課実施事業

事業名	開催時期	場所	内容
守谷市芸術祭	10月～11月	もりりん中央、市民ギャラリー	文化協会各部会の発表、作品展と体験教室、市民からの公募で行う美術展
守谷市美術作家展	2月	市民ギャラリー	守谷市美術作家展会員の郷土作家による作品展

【現状】

守谷市では「守谷市文化協会」を中心に芸術文化振興事業が行われており、幅広いジャンルで講座や体験教室が開かれています。しかし、「芸術文化活動をしていない」とアンケートで回答したかたの割合が高いことから、参加者が一部の市民に偏っていることが考えられます。原因として、「情報発信の不足」や「参加のしづらさ(参加のハードルが高い)」が考えられます。

アーカスプロジェクトについては、アーティスト育成やアーティストへの制作環境提供のために実施されている側面が強く、守谷市民が芸術文化を体験する機会には「オープンスタジオ」のみです。日頃から気軽にアーティストの制作現場を見ることができたり、地域の人々との自然な交流が生まれるような環境ではありません。